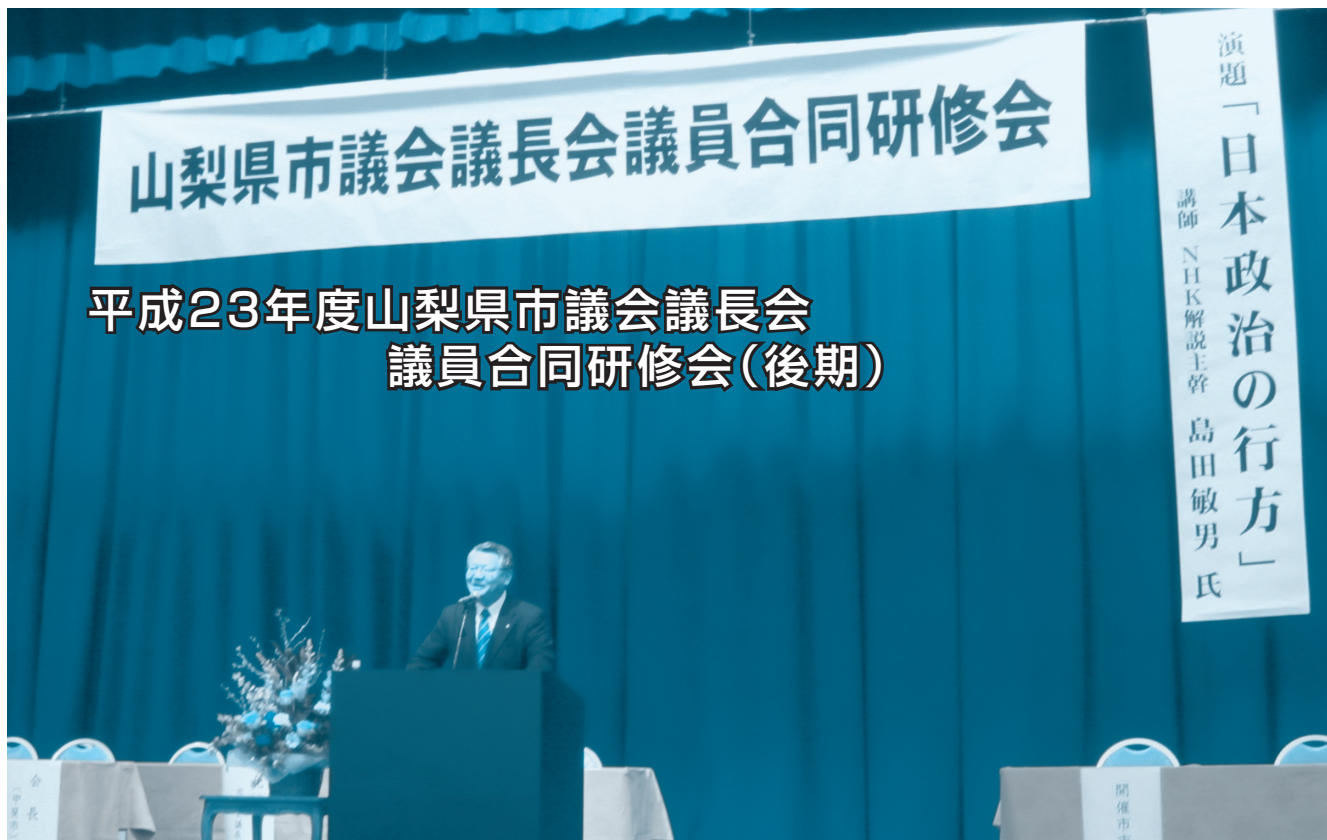


# やまなし 市議会だより

平成24年 2月22日

## 第28号



### 平成23年度山梨県市議会議長会 議員合同研修会(後期)

2月10日、アピオ甲府において、平成23年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)が県内13市の市議会議員多数出席のもと開催されました。この研修会では、NHK解説委員室解説主幹の島田敏男氏を講師に招き、「日本政治の行方」をテーマに講演が行われました。

## 山梨市一般会計補正予算などを可決

予算総額は170億734万1千円に

平成23年11月28日、平成23年11月臨時会が開催され、市長から提出された計2議案を原案のとおり可決しました。

また、平成23年12月定例会は、12月1日に招集され、21日までの21日間の会期で開催されました。この定例会では、補正予算、条例の改正など市長提出議案13件、議員提出議案1件を審議しました。この結果、すべての議案を原案のとおり可決・適任と認めることとしました。

### おもな内容

定例会議案等審議結果	2	常任委員会の審査	9
市政一般質問	3～8	議会活動日誌・編集後記	10

### 11月臨時会議案等審議結果

議案第八十八号は、「山梨市職員給与条例等の一部を改正する条例について」です。これは、人事院及び県人事委員会の給与勧告並びに県職員会の給与改定に鑑み、一般職において給与月額を平均0.19%減額する等、山梨市職員給与条例等の一部を改正しようとするものであり、議員賛成多数により原案可決となりました。

### 【市長提出議案】

○議案第八十七号  
専決処分の承認を求めることについて（山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について）  
（原案承認）

○議案第八十八号  
山梨市職員給与条例等の一部を改正する条例について  
（原案可決）

### 推薦

平成23年11月臨時会において、山梨市農業委員会委員に次の方々を議会推薦することが決定されました。

- 万力 岩間達見
- 三ヶ所 森屋誠啓
- 北 大村健一
- 牧丘町千野々宮 堀内朝幸

### 12月定例会議案等審議結果

議案第九十三号は、「山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について」です。

これは、一般会計からの繰り入れの抑制や将来予想される管理経費の財源を確保し、受益者負担に則した下水道特別会計の健全性と独立性を高めるため、平成24年4月から平均使用料単価で1立方メートルについて19円、改定率20.4%値上げし、排水量10立方メートル以下の使用料を670円から860円とするなど、条例の一部を改正しようとするものであり、議員賛成多数により原案可決となりました。

議案第九十四号は、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）です。今補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ、7億4,023万円を追加し、総額170億734万1千円にするものです。

主なものは、合併による財政優遇措置終了を見据えた財源の確保として、6億円の財政調整基金への積立。新規事業として、老人健康福祉センター内に、障害者地域生活支援センター相談室を設置するための改修事業経費50万円。

県の「安心こども基金」を活用した私立保育所緊急整備事業として、日下部保育園の太陽光発電設備設置工事補助金716万円余。台風12号、15号による災害復旧事業経費1,377万円などです。

### 【議員提出議案】

○山議案第三号  
中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の提出について  
（原案可決）

### 【市長提出議案】

○議案第八十九号  
山梨市地域振興基金条例の一部を改正する条例について  
（原案可決）

○議案第九十号  
山梨市税条例等の一部を改正する条例について  
（原案可決）

○議案第九十一号  
山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について  
（原案可決）

○議案第九十二号  
山梨市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について  
（原案可決）

○議案第九十三号  
山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について  
（原案可決）

○議案第九十四号  
平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）  
（原案可決）

○議案第九十五号  
平成23年度山梨市下水道事業特別会計補正予算（第3号）  
（原案可決）

○議案第九十六号  
平成23年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）  
（原案可決）

○議案第九十七号  
平成23年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）  
（原案可決）

○議案第九十八号  
平成23年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）  
（原案可決）

○議案第九十九号  
平成23年度山梨市水道事業会計補正予算（第2号）  
（原案可決）

○議案第百号  
山梨市民総合体育館、山梨市屋内温水プール及び山梨市牧丘B&G海洋センター指定管理者の指定について  
（原案可決）

○諮問第二号  
人権擁護委員候補者の推薦について  
（原案のとおり適任と認める）

- 牧丘町窪平 前嶋淳一（再）
- 牧丘町西保下 沼田光義（新）
- 牧丘町西保中 林 正文（再）

11月臨時会および12月定例会提出議案について議員賛否が分かれたものの状況（議長を除く） ○賛成 ●反対 △棄権

	古屋保男	雨宮悦子	大村政啓	飯嶋賢一	勝村力	古屋雅夫	古屋弘和	木内健司	秋山榮治	高原信道	岩崎友江	佐藤勇	吉田昭男	雨宮巧	小野鈴枝	山田稔	古屋忠城	結果
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決
議案第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決

※議案第88号山梨市職員給与条例等の一部を改正する条例について  
※議案第93号山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について

# 12月定例会 市一般質問 代表・一般 (要旨)

## 代表質問

真和会 秋山榮治 議員



- 財政関係について
  - ・平成22年度決算について
  - ・平成24年度予算について
  - まちづくりについて
    - ・市役所南棟について
    - ・旧市役所庁舎及び市民会館の活用について
  - 下水道関係について
    - ・議案第九十三号の下水道料金改定について
    - ・山梨市下水道事業経営計画について
  - 個人市民税に対する前納報奨金廃止について
  - 道路行政について
  - 山梨市景観計画について
  - T P P について
  - 「スタオクの森」について

● 教育関係について  
 ・小学校英語教育について  
 ・後屋敷小学校のプール移設について

〔主な質問と答弁〕  
**問** 市役所南棟について  
 南棟を撤去し周辺整備と併せ多目的スポーツ広場とすることを、市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長  
 庁舎南棟及びグラウンドを含めた山梨市シティセンターとして活用する方針を改め、南棟を解体し、庁舎などが防災拠点であることから、防災倉庫の整備とあわせ、市政推進の方針である元氣な市民生活、健康で年を重ねることができる環境づくりのために、グラウンドの拡張を図るべく検討していきたい。

**問** 旧市役所庁舎及び市民会館の活用について  
 旧市役所庁舎について、費用対効果を考えると耐震補強大規模改修工事等を実施してま

で、貸館として活用するべきではないと思う。合併特例債の活用期限も迫る中で、旧市役所庁舎の活用について市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長  
 旧市役所庁舎については、現在は、コールセンター業務を主体とする株式会社CCWと3年間の賃貸契約を締結し

ているが、東海地震では倒壊の可能性も否定できず、管理責任も問われることになるため、株式会社CCWと協議の上、契約の更新は行わないこととして、旧庁舎を撤去することとしたいと考えている。

**問** 個人市民税に対する前納報奨金廃止について  
 報奨金廃止について廃止により経費の削減は図られるが、他に問題はないか。また、既存の前納対象者に対する周知はどのように行うのか。

**答弁** 市長  
 個人市民税の前納報奨金を廃止しても、前納制度は残すので、廃止による問題は発生しないと思われる。納税者への周知については、条例改正後、速やかに広報等による周知を図った上で、前納報奨金の交付を受けた納税者には、郵送により前納報奨金廃止の通知をする予定である。また平成24年の個人市民税の当初課税の際にも周知文書等を同封する予定である。

**問** 後屋敷小学校のプール移設について  
 後屋敷小学校のプールの老朽化を含め、農免道路に面した環境や安全面及び校庭の状況について市当局の考えを伺いたい。

**答弁** 教育長 丸山森人  
 小中学校の校舎、屋内

運動場については、平成22年度にすべて耐震補強工事が完了したが、大規模改修工事を実施していない学校におけるトイレ改修を初め、多くの施設整備が必要となっており、緊急性等総合的に勘案し優先順位を決めて策定したい。

後屋敷小学校プール改修についても、平成22年度に施工した塗装補修工事の経緯も踏まえた中で、年次計画案に定めていきたい。

山和会 大村政啓 議員



- 指定管理制度導入による財政メリットと今後の考え方について
- 本市教育行政の諸課題について
- 第一次職員定員適正化計画の実績と集中行革プランに伴う第二次計画について
- 平成23年度の予算執行状況と主要施策事業の進捗状況について
- 平成24年度予算編成（財政面から見て）の基本的考え方と特に留意すべき点について
- 市営バス（運行業務委託）

事業の現状と今後の取組みについて

● 決算特別委員会における指摘及び要望事項の反映と取組みについて

● 市制式典について

● 公務員の守秘義務の考えについて

● 課税への延滞金について

〔主な質問と答弁〕  
**問** 本市教育行政の諸課題について  
 少子化に伴う児童・生徒の減少により、市内11小学校の児童数に大きなばらつきが生じている。平成22年1月に山梨市小中学校適正規模研究委員会を設置し、望ましい学校規模について研究を進めてきたようだが、経過と現状について伺いたい。

**答弁** 教育長 丸山森人  
 望ましい学校・学級規模について、次のように報告されている。学校規模については、小学校はクラス替えの可能な12学級以上の規模が望ましい。中学校はクラス替え可能な6学級以上の規模が望ましい。学級規模については、集団での諸活動を効果的に行う観点から、20人程度以上の規模が望ましい。適正規模化を進めても、実現が困難な場合は複式学級を解消できる規模が望ましいという報告を受けた。

今後、子供たちの望ましい教育環境を確保するために、新たに小規模校教育環境検討委員会を設置し、地域の意見を尊重しながら検討を進めていきたいと考えている。

**問** 第一次職員定員適正化計画の実績と集中行革プランに伴う第二次計画について指定管理者制度導入に伴う人的削減、事務事業の見直しを考慮する中で、適正及び削減目標を再検討する必要があると思うかがか。第二次計画最終年度（平成27年度）までの目標達成の見通しはいか

**答弁** 市長 数値目標については、事務事業の見直し、指定管理者制度の導入、市民との協働、また職員の人材育成等により、効率的な職員配置を検討する中、平成27年度職員数を380人と設定した。なお、社会情勢の変化、地方分権の推進及び新たな行政需要等による事務量に大きな変化が生じた場合には、必要に応じて本計画の見直しを行うが、現時点では現行の目標値が妥当と考えている。

**問** 平成24年度予算編成（財政面から見て）の基本的考えと特に留意すべき点について

優遇措置終了を見据えた財源確保として、6億円を財政調整基金に積立るとのことだが、平成24年度以後の活用について伺いたい。

**答弁** 市長 一般財源の減収が想定されているので、当初予算において3億円程度の基金繰入金の計上を考えている。今後合併優遇措置が終了する平成31年度を見据え、積み立てることが必要と考えている。

**問** 決算特別委員会における指摘及び要望事項の反映と取組みについて

毎年9月の決算特別委員会終了後、多くの意見、要望、指摘事項が議会本会議に報告されるが、それらが行政にどのように反映されているのか伺いたい。

**答弁** 市長 決算特別委員会審査の意見、要望として、医療費及び介護費の増加を抑制するための予防事業のより一層の充実、収入未済額の解消及び歳入の確保、経費削減の徹底などが挙げられている。課長会議等で十分それぞれの所管課に周知して、平成24年度の事業運営及び予算編成などにしっかりと反映させるべく指示を行ったところである。

新風会 山田 稔 議員



- 第一次山梨市総合計画後期基本計画案について
  - 山梨市中期財政計画について
  - 下水道使用料の改定について
  - 乙女高原と乙女湖周辺の活用について
  - 地域活性化について
  - 女性職員の積極的登用にについて
  - 小中学生のキャリア教育について
- 〈主な質問と答弁〉
- 問** 山梨市中期財政計画について

あるので、25年度から28年度は非常に大きな額となつている。財政規模から、計画事業をすべて実施することは不可能であり、優先順位を定め、各年度で対応していきたい。

**問** 下水道使用料の改定について

今、大幅な値上げに踏み切ろうとする、要因と理由を伺いたい。

**答弁** 市長 合併後の平成19年度の使用料の改定が地域間の平準化を主眼に置いたものであり、将来予想される管理経費や一般会計の繰り入れの是正などが依然大きな課題となっている。平成18年度の山梨市下水道事業審議会の答申により、3年程度の周期で使用料の改定を行うこととされており、同時に平成22年度決算において、使用料総収入が県の流域下水道への使用料負担金と一般の管理経費の合計さえも下回る状況となり、今後の下水道経営に大きな不安要素が生じた。このような事由によって、改定を進める考えである。

道師の木村俊昭さんの述べられた、個別の最適をつなげた全体の最適化を図る庁内システム作りをするべきだと思いが、市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長 現在、観光に関連する施設の管理、事業の実施を行う山梨市の出資団体及び関係課で組織する山梨市観光関連事業連絡調整会議が設置されており、観光に関する検討会議を行っている。また、女子職員で構成する女子観光プロモーションチーム、さらに市内外の他業種の皆さんで構成されている山梨市観光まちづくり機構など、市の活性化と観光振興を目指して活動を行っている団体があるので、今後一層の連携を強め、全体の最適化が図れるように努めていきたい。

**問** 女性職員の積極的登用にについて

平成23年3月の定例会でも質問したが、その後どのような対策を講じたか伺いたい。

**答弁** 市長 現状は女性管理職登用を取り巻く環境は必ずしも整備されているとは言いがたい状況であるので、管理職への業務経験として担当リーダー職への登用を積極的に進めるとともに、昇任基準の見直しについても検討していく。

市民の会 雨宮 巧 議員



●元気創造プロジェクトについて

●合併特例債延長について  
●消防団の施設、設備の拡充について

●豪雨災害について

●山梨市駅南口問題について

●森林環境税について

●幼保一体化について

●少子化による児童数の減少に対して

●二学期制について

●牧丘郷土文化館について

〈主な質問と答弁〉

問 豪雨災害について

豪雨に対する防災計画、とりわけ避難誘導について考え直す必要があると思うが、考えを伺いたい。

答弁

市長

自主防災組織や消防団を中心に、地域住民が一体となって避難経路や要援護者等の誘導について、日ごろから研究や訓練を重ねていただくことが肝要と考える。市では、自主防災組織を強固なものとするために、自主防災リーダー研修会等で、地域住民の安全確保についての習得を図るとともに、避難所への誘導、開設、運営等のマニュアルも作成していきたい。災害発生が予測されるときには、確実な情報伝達が必要となるので、市では孤立危険地域の市内17か所に防災無線子局から親局である市の災害対策本部と双方向通信ができる施設整備を行っている。

問 山梨市駅南口問題について

山梨市のまちづくりを計画する上で、駅南口設置と県道山梨市停車場線拡幅工事は同じ土俵で考えるべきと思うが、市の考えとJRへの働き掛けはどうなっているのか伺いたい。

答弁

市長

現在、駅南の県道整備については、今年度末に国の事業認可を得る予定であり、その後、地域住民に詳細説明を行う計画である。駅南口も含めた駅南市街地整備構想についても、今年度末までに基本構想をまとめ、地域と協働のまちづくりの案を最大限に取り入れ、JRとの協議を行い、事業計画を策定し、平成26年度から事業着手したいと考えている。駅南口については、駅南広場と南北自由通路

問 少子化による児童数の減少に対して

山梨市として、現実に迫ってきているこの問題に対してどう対処して行くのか。考えを伺いたい。

答弁

教育長 丸山森人  
教育委員会では、山梨市小規模校教育環境検討委員会を立ち上げ、検討を進めていきたい。少子化の進む中で地域の発展には教育環境を整え、子供たちに生きる力を身につけることが何よりも大切であると考える。あわせて学校を中心とした地域の歴史文化を維持発展させるためにはどうしていくことがよいか、地域と意見を尊重しながら、行政と地域が連携して取り組んでいかなければならないと考えている。

問 二学期制について

来年度中に二学期制に対する回答を出すということか考えを伺いたい。

答弁

教育長 丸山森人  
検討委員会からの答申が1月中には恐らく出てくると思われる。それを受けて、教育委員会でもた方向を検討する中で、今年度から来年度

初めくらいには新しい方向が見つかると思われるので、来年度1年間はその準備期間というふうなことになるかと考える。25年度から検討したものをもとにした形になっていくと考えている。

一般質問

市民の会

古屋 雅夫 議員



●市民懇話会の実施状況の受け止め及びテーマ「子育て支援等」の具体策について

●市役所に近接する旧庁舎並びに隣接する建物のあり方について

●山梨市指定の避難所（小中学校・公民館）の運営及び防災倉庫の位置づけについて

●八幡バイパスとハナミズキ通りを結び、新橋梁（県のマスタープラン）と八幡橋の位置づけ等について

●岩手橋及び甲州市を結び、松里岩手線の強化について

〈主な質問と答弁〉

問 山梨市指定の避難所（小中学校・公民館）の運営及び防災倉庫の位置づけについて

防災計画の改訂に伴う市民に周知する時期を伺いたい。また、今後防災備蓄品をしっかりと管理するために、防災倉庫・建物の位置づけを明確に行い緊急時に迅速に対応できる体制を構築する必要があるが、市の考え方を伺いたい。

答弁

市長

防災計画の改定に伴う市民への周知方法、時期は24年度の早い時期に公表したい。

また、市全体の防災倉庫の位置づけがないことについては、非常食6,500食、飲料水8,000本が南棟に保管されていることから、市役所周辺整備と合わせ、防災倉庫の位置づけを検討したい。

問

岩手橋及び甲州市を結び、松里岩手線の強化について

甲州市との連携・推進を含め、この道路整備の強化について市の考え方を伺いたい。また、岩手橋の整備に向けた市の考え方と、岩手橋から岩手地域に入る道路整備について進め方を伺いたい。

答弁

建設課長 土橋真仁

松里岩手線の道路整備については西関東道路とのア

クセスおよび地域の連携強化等のため、平成22年12月に甲州市とともに県に要望を提出し、岩手橋についても架け替えを要望した。県は県道として位置づけることを検討、今後、具体化に向け県および甲州市と協議を進める。

岩手橋から岩手地域に入る道路整備は地域要望を踏まえ、岩手橋西詰交差点改良を含め県に対し具体化を求めている。

日本共産党

吉田 昭男 議員



- 加入者に寄り添った介護保険制度の確立を求める。
- 下水道料金改定について
- 社会保障としての生活保護の確立を求める。

〈主な質問と答弁〉

**問** 加入者に寄り添った介護保険制度の確立を求める。

介護予防・日常生活支援総合事業の導入は市町村長の判断でできることであるが、要支援1・2の人が介護保険の利用ができなくなるため、導入をやめることを求める。

**答弁** 市長  
介護予防・日常生活支援総合事業は、利用者の視点に立った柔軟な対応や既存の枠組みにとらわれないサービスの提供が可能となり、要支援と非該当を行き来するような高齢者に対し切れ目のない総合的なサービスの提供ができ、また要支援1・2の人がこの総合事業のサービスマ以外に介護保険の予防サービスも利用することができると説明を受けている。この事業の導入については、サービス内容やサービスの提供方法などを検討する必要がある。

**問** 下水道料金改定について 今回の条例改定による20・4%の引上げと今後10年間の値上げについて、当局では市民生活の状況をどのように捉えているか。

**答弁** 市長  
今回の引き上げと今後の利用料金の改定については下水道特別会計としての課題を解消するため、利用者以外の方の負担軽減を図り、長期にわたり快適な住環境をさらに提供するものである。社会情勢の厳しさも十分理解しているが、市民に大切な下水道事業を市民の皆様が育って守っていただきたいので、ぜひよろしくお願いをしたい。

公明党

木内 健司 議員



- 災害時のホームページ代理掲載について
- LED蛍光灯導入について
- 防犯灯の電気料金削減について
- 放射線について

〈主な質問と答弁〉

**問** 災害時のホームページ代理掲載について

役所が甚大な被害を受けた場合に、住民への情報伝達手段が断たれることを防ぐ有効な手段として、災害時に遠隔地の自治体にホームページを代理掲載してもらうという仕組みがある。

大規模災害発生時を考えると、遠隔地と提携しての取組みが必要であると考えているが、市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長

災害対策本部から正確な情報を速やかに公表すること、地域住民の適切な判断と行動を促すとともに関係機関等への応援、支援を求める重要な業務であることから、ホームページの代理掲載は有効な手段だと考える。対象と

する自治体は、東海地震の範囲内の応援協定締結市以外の市を対象として協議を行い、導入に向けた検討を進めていきたい。

**問** LED蛍光灯導入について  
本庁舎内だけでもLED化することができれば、財政における有効な削減効果ばかりでなく、環境負荷の軽減や話題作りにもなると考える。さらに支所やその他公共施設にも導入されれば、より大きな効果が得られると考えるが、LED導入に向けた市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長  
LED照明は開発途上であり日々進化しているため、市役所など公共施設の照明についてはもう少し研究し、導入を検討したい。開発途上であるので、まだ工業規格が設定をされておらず、仕様がつかれないということが難点となっており、業界のほうで何とか工業規格を設定するように期待をしているところである。

山和会

岩崎 友江 議員



- 土砂災害ハザードマップについて
- 山梨市営駐車場時間貸し料金について
- 独居老人世帯・高齢者夫婦世帯の対応について
- 予防接種事業について

〈主な質問と答弁〉

**問** 山梨市営駐車場時間貸し料金について

山梨市駅を利用してもらうことと、それに付随して少しでも多くの人が山梨市営駐車場を利用するような料金見直しの検討について、市長の考えを伺いたい。

**答弁** 市長

山梨市営駐車場については、まちづくり総合支援事業及び山梨県パークアンドレーラライド駐車場促進事業を活用する中で整備し、平成16年12月から供用開始している。

利用料金については、当初周辺の民間事業者の経営を圧迫しない料金設定を行った。しかしながら利用率が落ちていくことにより、平成19年度に利用料金を3階の月極め料金部分のみ改定している。

今後は、時間貸し利用料金について山梨市駅の利用状況等も視野に入れた中で検討していく。

**問** 独居老人世帯・高齢者夫婦世帯の対応について

一人暮らしの高齢者の方々が、住みなれた地域で安心して生活を送るためのサービスとして、ふれあいペンダントの事業があるが、それ以上に早い把握ができるシステムが救急医療情報キットである。通報で救急隊員が駆けつけた時に、声をかけても応答できない状態におかれている場合がある。そのような時に、救急隊員が対象者の状況を把握するのに役立つのと考えると考えるが、市の考えを伺いたい。

**答弁**

福祉事務所長 雨宮俊彦  
ひとり暮らしの高齢者の安全・安心を確保するという点から、緊急時に自分の医療情報を伝えることができる緊急医療情報キットは有効な手段の一つだと考えられる。市としては、今年度の高齢化進行地域において日常生活に関するアンケート調査を実施し、また、来年度に市内全域でひとり暮らしの高齢者の詳細把握調査を計画している。その調査結果や先進地事例等を踏まえた上で研究していく。

山和会

佐藤 勇 議員



- 医療費の削減について
- 公契約条例制定に向けて
- 災害対策について

＜主な質問と答弁＞

**問**

医療費の削減について  
兵庫県尼崎市ではクレアチニン検査を実施し、ろ過能力の値を示すことで市民の意識改革に成功し、健康診断の結果表を単なる数値の羅列ではなくチャート表にしたところ、患者を減らすことができたとのことである。本市の健康診断に活用して、医療費の抑制に努めたいと思うが、導入について市の考えを伺いたい。

**答弁**

市長  
クレアチニン等の検査項目の追加及びチャート表の活用については、導入している自治体の効果等について検証し、市医師会の意見も伺いながら研究していきたい。

**問**

公契約条例制定に向けて労働者の適正な労働条件の確保と当該業務の質の確保のため、市民が豊かに安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、この条例を制定していただきたいが市の考えを伺いたい。

市長  
現行法令との整合性とその効果が限定的なものであるということから、実効ある制度とするためには国における法体系の整備が先決であると考えている。このため、現行制度の中で入札制度等きめ細かい対応により、公共工事における適正な労働条件の確保と品質の確保に努めていきたい。

**答弁**

市長  
市上水道の件については、変色した水を抜く装置の設置等応急的な対策はとってきたが、抜本的な解決には至っていない。今後上水道事業管網整備計画に基づき配水管の布設替えの検討を行い、水道水の変色等の解消に努めていきたい。

新風会

古屋 忠誠 議員



- 市上水道の件について
- 小水力発電について
- 山梨南中学校吹奏楽部の楽器買換えについて

山梨市駅前・東山梨駅前に一年間の活躍された個人・団体の広告板の設置について

＜主な質問と答弁＞

**問**

市上水道の件について  
上岩下地区は昔の銅管使用のために色のついた水が集

まってくるということであり、今後、市として上岩下地区の配管見直しや敷設換えの考えはあるのか。

**答弁**

市長  
市としては、変色した水を抜く装置の設置等応急的な対策はとってきたが、抜本的な解決には至っていない。今後上水道事業管網整備計画に基づき配水管の布設替えの検討を行い、水道水の変色等の解消に努めていきたい。

**問**

山梨南中学校吹奏楽部の楽器買換えについて  
山梨南中学校が第11回東日本学校吹奏楽大会で金賞に輝いた。生徒や保護者の話を聞くところによると、吹奏楽部の楽器が古く使用できないものが多いため、他校から借用しているとのことである。全部は無理かもしれないが、楽器の買換えについて市の考えを伺いたい。

**答弁**

学校教育課長 小林勝正  
現在の厳しい財政状況下では、高額な楽器を購入することは極めて難しい状況となっている。教材備品と違い限られた生徒のみの使用に供するという性格から、今後民間や財団法人等の補助金の活用も検討していかねばならない課題だと考えている。

山和会

飯嶋 賢一 議員



- 地域の防災力向上について
- メガソーラーの誘致について
- 山梨市の農業振興について
- 市民サービスの向上について

＜主な質問と答弁＞

**問**

地域の防災力向上について  
防災リーダーの育成は喫緊の課題であると考えますが、市の考えを伺いたい。

**答弁**

市長  
市では、地域の防災リーダー養成を目的に、消防署や県の機関の協力を得て毎年9月1日の防災の日前に自主防災指導者講習会を開催し、救助法や応急救護訓練等を行っている。また、地域に向いての出前講座も実施してきたところである。今後においても、消防署、峡東地域県民センター等と協力しながら地域防災リーダーの養成講座や出前講座を開催し、災害発生時の地域における初動体制の確立を目指していきたい。

**問** メガソーラーの誘致について

市において、メガソーラーに  
関して民間業者を誘致するこ  
となどについて、考えを伺い  
たい。

**答弁**

市長

メガソーラーの建設  
は、敷地面積、形状、高低差  
高圧線までの距離、大型車両  
の進入路、土地所有者の意向  
などの条件を満たして、初め  
て候補地となる。市所有の土  
地についても検討したが、適  
地が思い当たらない状況であ  
る。候補と考えられる土地が  
あれば、現地調査、関係機関  
との協議を行い、県の誘致事  
業への情報提供などを行って  
いきたいと考えている。

新風会

古屋 弘和 議員



● 東山梨駅周辺整備について  
● 自転車の走行環境整備をま  
ちづくりはどう生かすか。

● 山梨市自転車等の放置の防  
止に関する条例について  
(主な質問と答弁)

**問**

東山梨駅周辺整備につい  
て

東山梨駅西側のトイレや駐輪

場が非常に老朽化しており、  
改善すべき時期に来ている  
が、周辺道路も含めて整備の  
計画があるのか伺いたい。

**答弁**

市長

東山梨駅の公衆トイレ  
は、現在週3回の清掃を業者  
委託により行い、施設の補修  
はその都度対応を行ってい  
る。

周辺道路の整備については、  
駅南側の都市計画道路山梨市  
駅東山梨線の跨線橋事業に係  
る課題の一つでもあり、自転  
車置き場や広場を含め、今後  
関係機関及び地域の皆様と協  
議を進めながら検討してい  
きたい。

**問**

山梨市自転車等の放置の  
防止に関する条例につい  
て

今後、どのように総合的な自  
転車等の放置防止施策の推進  
に努めるのか伺いたい。

**答弁**

総務課長 小林孝

今年度市内2つの駅周  
辺の放置自転車について警察  
との協力体制をとりながら巡  
回する計画であるが、先般確  
認をしたところ、山梨市駅周  
辺に10台、東山梨駅周辺に20  
台ほどが放置されていた。今  
後は放置自転車がなくなるよ  
う巡回回数をいやすとともに、  
駐輪場への注意を促す掲示や  
広報等での周知、また学校へ  
の周知も図っていききたい。

### 中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書

3月11日に起きた東日本大震災で、東京電力福島第一原子力発電所は壊滅的な被害を受け、多量の放射性物質が放出されました。このため福島第一原子力発電所から130キロから150キロくらいに位置する北関東は、偏西風の風上に位置するにもかかわらず農作物が放射能被害を受けました。

山梨市から南西約130キロに位置する中部電力浜岡原子力発電所が地震・津波等で損傷して、大量の放射性物質が放出されると、子どもたちをはじめ、地域住民の健康への影響は無視できません。

また、山梨市の基幹産業といえるブドウ、桃、李、サクランボなどの果樹を中心とした農業も放射能被害を受ける可能性が極めて高く、山梨の産業や観光は壊滅的な被害を受けることが想定されます。

浜岡原子力発電所の原子炉は、政府の要請で5月中旬から停止していますが、停止中の原子炉でも地震・津波被害で放射性物質を放出することは、福島第一原子力発電所4号炉が証明しています。

浜岡原子力発電所は、今後、30年間に87パーセントの確率で発生すると予想されている東海地震の震源域に位置しています。東海地震により、浜岡原子力発電所で事故が起きる可能性は高く、人的被害と物的損害を合せ多大な被害を受けることが危惧されます。

住民の生命を守り安心、安全を確保するため浜岡原子力発電所の廃炉を要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 23 年 12 月 14 日

山梨市議会議長 大竹 裕子

提出先

内閣総理大臣

経済産業大臣



### 常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は、12月16日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。

各常任委員会における質疑の要旨（抜粋）は次のとおりです。

### 総務

○議案第九十四号、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）関係付託部分のうち、歳入の市債について

**問** 合併特例債の事業見直しによる、1千340万円の増額補正としているが、見直し事業及びその額は。

**答** 増額による部分は、保育所耐震補強関係2千30万円、道路では野背坂線620万円、落合正徳寺線830万円、その他道路改良等が2千430万円である。一方、農林関係で成沢の基盤整備、小原東後屋敷線2事業で、4千570万円減額になり、増減の差引で1千340万円増額補正となる。

○議案第九十四号、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）関係付託部分のうち、歳入の消防費について

**問** 消防費の2千820万4千円増額補正の中で、

非常備消防費180万9千円及び消防施設費2千539万5千円の内容は。

**答** 非常備消防費については、消防団員等公務災害補償等共済基金の助成金174万7千円と、一般財源6万2千円の合計180万9千円で市内消防団の全各部に、ヘルメット385個と耐火制防護服20着の購入を予定している。

また、消防施設費2千539万5千円の補正額の内、消防施設整備事業経費1千726万6千円は、建設関連社会资本整備総合交付金935万円と、地方債760万円等を充てて、三富分団第5部ポンプ車の入替を予定している。

委員会審査後、「山梨消防署」「牧丘支所」「牧丘郷土文化館」の現地調査を行いました。

### 建設経済

○議案第九十三号、山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について

**問** 改正により下水道使用料が上がるが、下水道事業の収入はどうなるのか。

**答** 今回の条例改正によって、下水道使用料による収入は、10%程度以上の上昇を見込んでいる。現在の下水道使用料等による収入では、下水道

道の維持管理や、峡東流域浄化センターで汚水処理をするための費用も賄えていない状況であり、この改正によって、下水道事業の財政を健全な状態に近づけ、独立採算が取れるようにしていきたい。

○議案第九十四号、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）関係付託部分について

**問** 小原東後屋敷線改良費の減額について、用地取得の見込みがつかないのとことだが、その理由は何か。

**答** 地権者から代替地の取得に関する依頼があったが、代替候補地の地権者との話がまとまらなかった為、今年度中の用地取得の見込みがつかなくなった。

### 要望事項

◆下水道料金の負担増について、市民に適切な説明を行い、十分な理解が得られるよう努力すること。また、個人負担の軽減を図るために数値目標を定める等し、さらに加入率を上げるよう、明確で実効的な取組みを行うこと。

◆市役所庁舎及び市管理施設において積極的な節電等の取組みが行われ、経費の削減と適切な管理を行い、今後必要な経費が生じることのないよう努力すること。

委員会審査後、「山梨市役所庁舎南棟」「山梨市役所体育館」「かのがわ古道・かのがわ広場」「正徳寺の農村地域工業導入実施計画地」の現地調査を行いました。

### 教育民生

○議案第九十四号、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）関係付託部分、民生費のうち障害者福祉費について

**問** 手話通訳利用者が増えてきているということであるが、どのような状況なのか。

**答** 現在登録者数は69名である。病院へ行く時や行事等、2時間以上かかる場合は手話通訳者2名が必要になる。一般的には1時間から2時間の要請で手話通訳の派遣をしている。また、派遣状況は昨年より増えており、障害を持った方が社会参加など外に出ていく機会が増えている傾向にあると認識している。実際には、学校の授業参観、三者懇談、通院や区の会議等にも手話通訳を伴って参加している。

○議案第九十四号、平成23年度山梨市一般会計補正予算（第3号）関係付託部分、教育費のうち教育委員会費について

**問** 英語指導助手ALTの経費について委託から賃金に組み替えられているが、当初はALTを取りまとめる団体があって、そこへの委託を考えていたのか。

**答** ALTを英語活動、英語教育の充実に資するため英語教育をパッケージで提供する会社があり、昨年度はその会社に委託をしていた。当初は23年度もそのつもりであったが、業務委託の場合はコンプライアンスの関係で発注者である教育委員会、学校または担任の教員が直接ALTに指示ができない状況になった。そのため、業務委託では学校の教員とALTが相互連携をとりながら英語教育を進めることが難しくなったため、ALTを直接雇用することにした。

### 要望事項

◆中学校部活動における高額備品の購入については教育を重視する観点から活動に支障が出ないよう計画的に行うこと。

委員会審査後、「社会福祉法人寿光会グループホーム湯苗田」「山梨市立牧丘第一小学校ペレットストーブ及び太陽光発電施設」の現地調査を行いました。

# 議会活動日誌

- 11月.....平成23年11月臨時会(28日)
- .....議会運営委員会・議員全員協議会(28日)
- 12月.....平成23年12月定例会(1日～21日)
- .....議会運営委員会・議員全員協議会(20日)
- .....第9回議会改革検討委員会(21日)
- 1月.....NewYearFestivalHAPPY!!初日の出(1日)
- .....平成24年山梨市議会新年互礼会(4日)
- .....平成24年山梨市消防団出初式(8日)
- .....平成24年山梨市成人式(8日)
- .....第10回議会改革検討委員会(10日)
- .....議会運営委員会先進地視察(三重県四日市市議会)
- .....(16日～17日)
- .....第11回議会改革検討委員会(18日)
- .....根津記念館歳時記イベント「節分豆まき」(29日)
- .....第12回議会改革検討委員会(30日)
- 2月.....議会運営委員会・議員全員協議会(1日)
- .....山梨市老人福祉大会(6日)
- .....第13回議会改革検討委員会(9日)
- .....山梨県市議会議長会議員合同研修(後期)(10日)
- .....第27回山梨県市町村自治講演会(10日)
- .....山梨県後期高齢者医療広域連合議会(17日)



山梨市議会議会改革検討委員会

市民により開かれた議会を目指して、山梨市議会議会改革検討委員会による研究・検討が活発に進められております。現在、議会改革についての議長に対する答申のまとめ段階に入っており、2月末を目途に提出が予定されています。

## 議会運営委員会先進地視察

議会運営委員会による先進地視察研修が1月16日～17日に行われました。

◆視察先 三重県四日市市議会

●議会基本条例制定に伴う

- ・「通年議会」について
- ・執行部の「反問権」行使について
- ・「文書質問」について
- ・制定の経緯と実施状況及び議会運営全般について

【秋山榮治議会運営委員長所感】

四日市市議会は全国的にも先進的な議会改革を実施されており、平成10年当時の長老支配の時代から現在に至るまで、常に市民の皆様が議会の役割や活動内容を理解していただくことを目的に議会改革を検討されてきた。昨年5月1日には新たに議会基本条例を制定し、「通年議会」「反問権」「文書質問」等を条例化、全国に先駆け議会運営に反映している。また常に議員としての資質の向上・議会の活性化・透明化等積極的に努めており、本市の今後の議会改革を含め議会運営にも大変参考となりました。



## 編集後記

新しい年がスタートしました。

節目の節分・立春と過ぎましたが、強い寒気の襲来で、県内ではインフルエンザが猛威をふるっております。市民の皆様におかれましては、沈静に至るまでは、お体には十分気をつけてお過ごしください。

議会といたしましては、議会改革に向けて、昨年6月から議論を重ねて参り、最終段階に入っております。どのような改革がなされるのか、市民の皆様が関心を示される所ではないでしょうか。どうぞ成り行きを見守り下さい。

◆議会だより編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 岩崎 友江 |
| 副委員長 | 古屋 雅夫 |
| 委員   | 大竹 裕子 |
|      | 古屋 保男 |
|      | 勝村 力  |
|      | 秋山 榮治 |

## お知らせ

3月定例会開催予定

- |              |        |
|--------------|--------|
| 開会           | 1日(木)  |
| 常任委員会審査(補正)  | 7日(水)  |
| 本会議          | 9日(金)  |
| 代表質問         | 14日(水) |
| 一般質問         | 15日(木) |
| 常任委員会審査(新年度) | 16日(金) |
| 常任委員会審査(新年度) | 19日(月) |
| 閉会           | 23日(金) |

※全日程午前10時開会

※日程は都合により変更となる場合があります。